

競技注意事項

1 本大会は2023年度(一財)愛知陸上競技協会「小学生友の会ルール」で行う。

2 アスリートビブス(ナンバーカード)について

- (1) プログラム記載のものをユニホームの胸、背に確実につける。
- (2) トラック競技は、招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード」を必ず競技者係から受け取る。ランニングパンツの右横や後方に、明確に数字が読めるようにつける。リレーは、第4走者(アンカー)がつける。フィニッシュ後、直ちに回収係に返却する。

3 レーン・試技順について

- (1) トラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。
- (2) 欠場者のレーンをあける。

4 招集について

- (1) 招集所は、競技場内100mスタート後方に設ける。
- (2) 招集の受付は本人(代理人は認めない)が行い、時間に遅れた者は出場を認めない。招集指導は引率者の引率で行う。リレーは4人が揃って招集を受ける。
- (3) 最初に出場する種目時間に出場する全種目の招集を行う。
- (4) リレーオーダー用紙は、6年混合リレーは7時45分までに団体受付へ提出する。5年及び4年混合リレーは招集完了時間1時間前までに招集所へ提出する。オーダー用紙は団体受付時に受け取る。
- (5) 選手の誘導は各団体の引率者が行う。

5 ウォーミングアップについて

- (1) できる限り集団でのアップはせず、密にならない様に行う。事故等の起こらない様に引率者が付き添って行う。
- (2) 競技場内はバックストレートのみとし、Jogや体操等を行わない。ハードル練習は準備されたものを役員の指示により行う。ハードル練習には必ず引率者が付き添い行う。
- (3) 競技場外は、公園利用者の迷惑とならない様に注意して行う。

6 競技について(友の会ルール)

- (1) スターターの合図は英語「On your marks」「Set」で行い、不正スタートは、一人が2回で失格とする。スタートの方法は、クラウチングスタートとする。3年生以下50mは、スターティングブロックは使用しない。スタンディングスタートとする。
- (2) 混合リレーのオーダーは、男女各2名で編成し、走順は自由とする。

(3) 80mハードルの規格

	台数	高さ	スタート～第1ハードル	ハードル間	最終ハードル～フィニッシュ
5・6年生	9台	0.70m	13m	7m	11m
4年生	9台	0.60m	13m	7m	11m

- (4) フィールド種目の競技開始前の練習は、審判員の指示によって行う。
- (5) ジャベリックボール投げは、規定の投げ方(にぎり持ち)で、助走距離は15m以内、試技は1人2回とし、すべて計測する。

- (6) 走幅跳の試技は1人2回とし、すべて計測する。
- (7) 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとする。(足裏以外の着地は認めない。)2回連続失敗した時点で終了とする。バーの上げ方は、下記のとおりとする。

学年	練習	1	2	3	4	5	
4年生	80cm	85cm	90cm	95cm	1m00	1m05	以後5cm
5年生	95cm	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	以後5cm
6年生	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	以後5cm

- (8) 本大会において、“日清食品カップ”愛知県小学生陸上競技交流大会(6月24日)の参加資格記録を突破した者は、大会への参加資格を得られる。参加を希望する場合は、愛知陸協ホームページを参照し、参加申し込みをすること。

7 競技用器具について

- (1) 競技に使用する器具(スターティングブロック・バトン・ハードル)は、主催者が用意したものを使用する。
- (2) ジャベボール(ニシスポーツ NT5201)は出場者一人につき1個持参し使用する。他競技者とは共用しない。
- (3) リレー・跳躍・投てき競技の助走に使用するマークは主催者が用意する。フィールド種目のマークは2個まで使用できる。

8 団体受付について

- (1) 団体受付は、本部室内に設ける。但し、早朝のみ本部室外で団体受付を行う。
- (2) 大会中の落とし物は団体受付で対応する。

9 競技場内及びスタンド入退場・待機について

- (1) 選手、引率者(大人の方で指定された人数)、保護者(選手1名につき1名)がスタンド(バックスタンド含む)に入場出来る。引率者の交代は認めない。但し、保護者はスタンドのみとする。
- (2) スタンド出入口は、ゴール側スタンド入口に設ける。
選手…最初の入場時に、体調管理シートの確認を行う。(再入場にも必要)
引率者…団体受付にて体調管理シートの確認を受け、リストバンドを付ける。
保護者…団体へ配布したリストバンドを付ける。
- (3) 再入場には、選手は体調管理シート、引率者及び保護者はリストバンドを提示する。引率者の交代は団体受付役員へ申し出て行う。但し、保護者は学年入場時間以外の再入場できない。
- (4) スタンドについては密を避けて座り、マスク着用せずに声を出しての応援は禁止する。
- (5) 競技が終了した選手・引率者・保護者は速やかに帰宅すること。

10 その他

- (1) トラック競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全確保のために、自分のレーン(曲走路)を走り、減速し止まる。
- (2) リレーの第1・第2・第3の各走者は、バトンを渡した後も他のレーン(チーム)の走者が、全員通過し競技役員の指示があるまで自分のレーンにとどまること。他のチームの妨害にならないよう注意する。
- (3) プログラムの氏名・所属等の間違いがあれば、チームの責任者が団体受付時に申し出る。

- (4) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、医務室において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。
- (5) 貴重品類は各自で保管する。万一の事故があっても責任は負わない。盗難に注意すること。

1.1 感染症対策

- (1) 本大会は1週間前から今大会用の「大会前体調管理シート」を記入する。また、このシートは大会後、1か月間は各自で保管するものとする。大会終了後2週間の体調チェックを行い、感染が疑われる症状がある場合には、小学生友の会西三河担当者のメールアドレスまで早急に知らせ、保健所の指示に従うこと。
- (2) 日本陸上競技連盟の示した、感染リスクを軽減させた競技会の運営方針に従い運営します。手洗いや消毒、選手の動線など主催者の指示に従い、競技会に参加すること。
- (3) 競技場への来場は原則、保護者の送迎とする。また、競技終了後速やかに帰宅すること。
- (4) 競技場へは2時間前以上に来場しないこと。競技に出場しない者は会場に来場しないこと。
- (5) 競技場への入場時刻及びスタンド入場時刻は、タイムテーブルに記載する。
- (6) 各団体の待機場所も含め、三密を避けるように工夫をすること。また、子供達が遊び回ったり騒ぐことのない様に指導する。
- (7) ゴミは必ず持ち帰ること。競技場に設置してあるゴミ箱は封鎖する。
- (8) 各団体は消毒液を準備し、適宜選手の消毒や手洗い指導し、感染予防に努めること。
- (9) 主催者は競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任も負わない。



